

片柳洋一氏・元理事が消防庁長官表彰を受賞

5月の全国消防機器協会会長賞に続いて2度目



式辞を述べる佐々木 敦朗・消防庁長官



消防庁長官表彰を受賞した片柳 洋一・元理事



消防庁長官表彰での表彰状の授与



名前を読み上げられて起立する片柳氏（前列右）

「平成27年度消防設備関係功労者等表彰式」が11月4日、東京・元赤坂の明治記念館で開催された。同表彰式では、消防庁長官による式辞、表彰状の授与、来賓の祝辞で閉会した。その後、同じ建物内で別の会場へ移動して、受賞者全員を対象にして記念撮影が行われた。続いて、さらに別の会場へ移動して、「祝賀会」も行われた。主催は消防庁及び一般財団法人日本消防設備安全センター。

今回、内発協の推薦を受けて受賞した元理事で、株式会社東京電機相談役の片柳洋一（かたやなぎ・よういち）氏には、消防機器の技術開発、普及に貢献され、その功績が特に顕著であった功労者として、「消防庁長官表彰」が授与された。

なお、消防関係の表彰では、片柳氏は今年5月に開催された「全国消防機器協会会長賞」を受賞して

おり、今回で2回目となる。

当日の同表彰式では、内容が二つの表彰式から構成されており、前半は「消防庁長官表彰（三種類）」、後半は「一般財団法人日本消防設備安全センター理事長表彰（三種類）」の順となっている。

消防庁長官表彰では、消防用設備等の適正な保守業務に精励された方々に対する「消防設備保守関係功労者表彰」として30名。消防機器の技術開発・普及に貢献された方々に対する「消防機器開発普及功労者表彰」として27名。消防防災技術の高度化に大きく資するもので他の模範となる消防用設備等に対する「優良消防用設備等表彰」として2件の合わせて9名。合計66名が受賞した。

日本消防設備安全センター理事長表彰では、消防用設備等の維持管理の適正化の推進に貢献された



消防設備関係功労者等表彰式の主催者



左から受賞者の片柳 洋一氏、佐々木 敦朗・消防庁長官、森 信昭・内発協会長、小林 博幸・内発協専務理事



同表彰式に参集した消防関係団体の来賓



右から2人目は原田 正司・日本消防設備安全センター理事長

方々に対する「消防設備保守関係者表彰」として101名。消防用設備等点検済表示制度の推進に貢献された事業所の方々に対する「消防用設備等点検済表示制度推進優良事業所表彰」として45名。

地域の防災安全に資するもので他の模範となる団体または個人に対する「防災安全関係者表彰」として3団体と5個人の合わせて8名。合計154名が受賞した。

各表彰式では、表彰の種類ごとに、司会者によって名前を読み上げられた受賞者たちは順番に起立して、壇上の佐々木敦朗（ささき・あつろう）消防庁長官、あるいは、原田正司（はらだ・ただし）日本消防設備安全センター理事長に向かい、それぞれお辞儀をした。

続いて、表彰の種類ごとに、受賞者全員の名前が読み上げ終わると、受賞者全員が起立している中から、受賞者を代表して一名が登壇した。佐々木消防庁長官による「消防庁長官表彰」、原田日本消防設備安全センター理事長による「日本消防設備安全センター理事長表彰」の順に表彰が行われ、それぞれの受賞者の代表者に対して表彰状が授与された。

なお、同表彰式では、冒頭で、佐々木消防庁長官



右から2人目は次郎丸 誠男・危険物保安技術協会特別顧問

が登壇して式辞を述べた。

佐々木消防庁長官は「表彰を受けられます皆様方におかれましては、長年の経験と実績を活かし、今後とも、それぞれの分野において先導的な役割を担っていただきますとともに、国民生活の安心・安全の確保に一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。表彰を受けられます皆様方の今後益々のご発展と、ご参集の皆様方のご活躍、ご健勝を心から祈念申し上げ、式辞といたします」と挨拶した。